

花巻ファーマー

転職し醸造用ブドウ栽培 ワインの自社企画も



せきね けい
堰根 慶 さん
(東和町土沢 33歳)

●株式会社MKファームこぶし
【場所】東宮野目13-9
【問い合わせ】☎23-5321 ㊟22-2104
【ホームページ】http://www.michinoku-kubota.co.jp/

大迫の特産であるブドウの収穫が近づくこの季節。ワイン好きが高じてブドウ栽培を始めたファーマー、堰根慶さんを取材しました。

堰根さんは専門学校卒業後に県内のホテルへ就職。夕食で出す岩手産のワインを自分でも飲んでみたところお気に入り。ワイン・ブドウづくりに興味が高まり、勉強のため平成28年から「花巻市葡萄が丘農業研究所」に通い始めます。

平成29年には畑を借りて一からブドウ栽培に挑戦。初めて採れたブドウを見たときのことを「自分はブドウを作るのが下手だなあと実感しました」と、堰根さんは苦笑いしながら振り返ります。

現在は個人でもブドウ畑を



醸造用品種「メルロ」。甘味と酸味の適期を見極め収穫する

持ち、農業機械販売会社みちのくボタの子会社で醸造用ブドウ畑を運営する「株式会社MKファームこぶし」へ転職し、農場長を務めます。同社の5畝の広い畑は管理が大変そうですが、「ツルを刈る摘心作業のため東北で初めてリーフカッターという機械を導入しました」と栽培の効率化も考えています。

採れたブドウは自社企画ワイン「ベスピナエ」として量産を計画。堰根さんは「きれいなワインを届けたい」と赤いラベルを見つめ話していました。

市民生活コーナー

ネット通販の支払いは証拠を残すように注意！

■どんな相談があるの？

○2年前に、インターネット通販で500円のお試し価格のダイエット食品を購入。ただし、6回の定期購入が条件のため、商品を受け取る都度代金を支払った。だが、支払いが終わったにも関わらず、突然未払い代金があると督促状が届いた。「期日までに支払わな

■注意することは？

○ネット通販は、クレジット決済や後払い決済などの支払い方法を利用する人が多いです。カード決済の場合、口座引き落としになるため、支払い状況は通帳を確認することが可能ですが、後払い決済の場合は、

■改正民法では商品代金の時効が5年間と定められているため、領収書は最低でも5年間保管しておくようにしましょう

■問い合わせ・申し込み

○新館市民生活総合相談センター(☎41-3550)へ

いと弁護士に回収委託する」と書いてあった。領収証を捨ててしまったので、支払ったという証明ができなくて困っている

領収書がないと支払ったという主張をするのは困難です。コンビニや郵便局などで支払った場合は納付書などをなくさないよう保管しましょう

○改正民法では商品代金の時効が5年間と定められているため、領収書は最低でも5年間保管しておくようにしましょう

健康コラム

飲酒量が増えている！？

コロナ禍で宅飲みする機会が増え、飲酒量が増えてしまっていないですか。お酒の適量は、日本酒なら1合ですが、令和元年度の特定健康診査を受けた人の状況をみると、1日に2合以上飲む多量飲酒者の割合が、全国と比較して男性1.3倍、女性1.9倍と高い状況になっていました。

●多量飲酒による影響

肝臓本来の役割は脂質や糖質を分解することですが、飲酒により優先的にアルコールが分解されるため、本来の役割が後回しになります。そのため、食事からの中性脂肪が代謝されず肝臓に蓄積され、脂肪肝や肥満、動脈硬化などにつながります。

●お酒の適量

適量は、純アルコール量に換算して1日平均20ㇿです。純アルコールは以下のように計算できます。皆さんも普段の飲酒量で計算してみましょう。

式：お酒の量(ㇿ)×(アルコール度数/100)×0.8(アルコール比重)

【計算例】

5ㇿのビール500ㇿの場合、 $500 \times 0.05 \times 0.8 = 20ㇿ$
15ㇿの日本酒180ㇿの場合、 $180 \times 0.15 \times 0.8 = 21.6ㇿ$
純アルコール20ㇿの適量は、5ㇿのビールの場合、500ㇿ、日本酒の場合、約1合となります。

適度な飲酒はストレスの緩和、リラックス効果があります。これからも長くお酒を楽しむために、適量を意識しながら健康的にお酒を楽しんで欲しいものです。



【問い合わせ】健康づくり課(☎23-3121)

地域おこし協力隊が着任しました

9月1日に地域おこし協力隊として着任した坊迫隊員を紹介します。



名前 ぼうき まいか
前 坊迫 舞香

前住所 神奈川県横浜市

着任地域 花巻全域

活動テーマ 地域資源を活用した「むらづくり」によるシティプロモーション

大好きな花巻市に地域おこし協力隊として着任できてうれしいです！

私は花巻の自然に溢れているところや、街の人たちの「花巻愛」に魅力を感じて、花巻市への移住を決めました。田舎出身で海外や都会での生活を経て、「この先自分がどんな生き方をしたいか」を考えたとき、自分は田舎で自然と共存する生き方がしたいと思いました。具体的には、空き家の活用や、自然体験ができる施設・イベントづくり、花巻の魅力が詰まった製品づくりなど、田舎でもパワフルに生きれることを証明したいです。

1年目の目標は猟銃の資格をとることです。よろしくお願いします。

広げよう
活動の輪

市民活動団体紹介

子どもたちに本を読む楽しさを伝える
はなしっこくらぶ

お揃いのエプロンを身につけ、とう姿が印象的な「はなしっこくらぶ」は、平成9年に発足した石鳥谷地域を拠点に紙芝居や絵本の読み聞かせを行う団体です。

同団体は、石鳥谷図書館で毎週土曜日に開催している「土曜わくわくタイム」で、未就学児や小学校低学年を対象におはなし会を行っています。会員の皆さんは、「読み聞かせをした時の子どもたちの楽しそうな反応を見るとやりがいを感じます」と、笑顔を見せていました。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止により同図書館のイベントが開催中止のため、活動を縮小している状況です。「自粛期間中、子どもたちには、私たちが読み聞かせた本を思い出してもらえたら

嬉しい」と、会員の皆さんは話します。

「今の願いは早くコロナが収束して以前のような活動を行えるようになること。読み聞かせを通じて、また子どもたちに本の楽しさを伝えていきたい」と意欲を見せています。



▲「はなしっこくらぶ」の皆さん

【問い合わせ】
はなしっこくらぶ
代表 伊藤 エト子さん
(☎45-2327)